



名士カラオケ大会と講演会

宗谷医師会会長 牧野 正直

平成17年10月からの厚生労働省の医療制度改革の流れは、国民に負担を強いて、特に社会的に弱者の人が多く高齢者にさらに追いつけを掛け、暮らしにくい状態にしている。

宗谷医師会は、一般市民を対象にした講演会“皆が安心してかかる医療を、今国民皆保険制度が壊れるかも”を北海道医師会常任理事中川俊男先生を講師として、12月7日サンホテルで開催した。

その前の12月4日、総合文化センターで稚内名士カラオケ大会があり宗谷医師会として初めて私が出演、唄う前に1,200人の聴衆に司会者から宗

谷医師会のメッセージとして、日本医師会は患者さんの負担が増える医療制度改革に反対し署名運動を行っていることと、講演会への出席のお願いを話してもらった。

7日の講演会は、中川先生のかみくだいたお話で「数字のカラクリ→医療費抑制を強行するために、ゆがめられた数字のマジックが良くわかりました」という声が多かった。その後、宗谷医師会の有志との会食でも中川先生のここだけの話して盛り上がり、とにかく行動あるのみ、ちゃんとした回答がなくても声をあげることが大事だということを確認して散会した。



稚内名士カラオケ大会